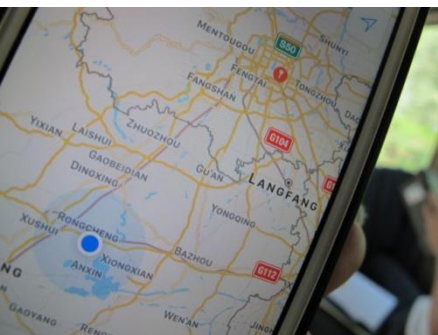


雄安新区視察見学報告

2017年8月8日



2017年4月1日、中国共産党中央委員会、国務院は、河北雄安新区の設立を決めたと通知した。ホットな話題として関心の高い雄安新区の状況を、対外経済貿易大学 劉慶彬副教授による案内で8月8日(火)横井大使と共に現地視察した。



高速道路サービスエリア



雄安新区へ向かう途中のサービスエリア。北京市内から車で1.5~2j時間の場所にある。“千年大計 国家大事 雄安新区”のスローガンが表示されていた。



白洋淀の駅。現在は、北京南駅からの高速鉄道が一日2本停車。

雄安新区はマスコミ等の報道によれば、河北省雄県、容城県、安新県やその周辺地域が新区に指定され、これらの地域は、北京から120km、天津から110kmの距離。正三角形に近い三角形のそれぞれの頂点に特色ある経済発展都市を作り出す。その後、それぞれの頂点から同心円状に発展領域を広げていき、点から面へと成長を加速させる。それが、北京・天津・河北省一体化発展戦略の推進に繋がるという考え方。



第1期の開発予定地はトウモロコシ畑



凱盛賓館



凱盛賓館の会議室で、対外貿易大学の劉副教授から雄安新区の説明を受ける。この会議室で、習主席が雄安新区についての会議を実施した。



大王鎮人民政府



街には建築途中の建物が並んでいた。



開発予定地は、今はトウモロコシ畑



白洋淀



雄安新区にある白洋淀は、河北省最大の湖。観光区の中には、いくつかの大きな観光スポットが設けられている。ハスを主体とした自然風景が美しい。